

一般質問を傍聴しましょう

日本国憲法のもと、地方政治はそれぞれ選挙で選ばれた首長と議会の二元代表制となっています。首長のもとに議会があるのではなく、議会は首長と対等の立場であり、議会全体として権能を持ち、議決や監視の役割を果たします。ですから議会傍聴は市政を知るうえで大切な取り組みです。特に一般質問は各議員が質問を通して市政の課題を明らかにしたり、市政に対して提案をする場です。インターネット中継もされます。

各会派の人数によって一般質問の人数が案分され、3月市議会では自民党6人、公明党3人、川口青嵐会1人、川口新風会1人、日本共産党川口市議団から2人が一般質問します。日本共産党は、松本幸恵市議と板橋博美市議が一般質問をします。

松本幸恵市議
10日(月)10時～

一般質問要旨

- 国民健康保険について
- 医療・介護・障害者への支援を
- 教育環境の充実と質の高い保育のために
- 防災の取り組みについて
- 物価高騰に対する市民への支援策について

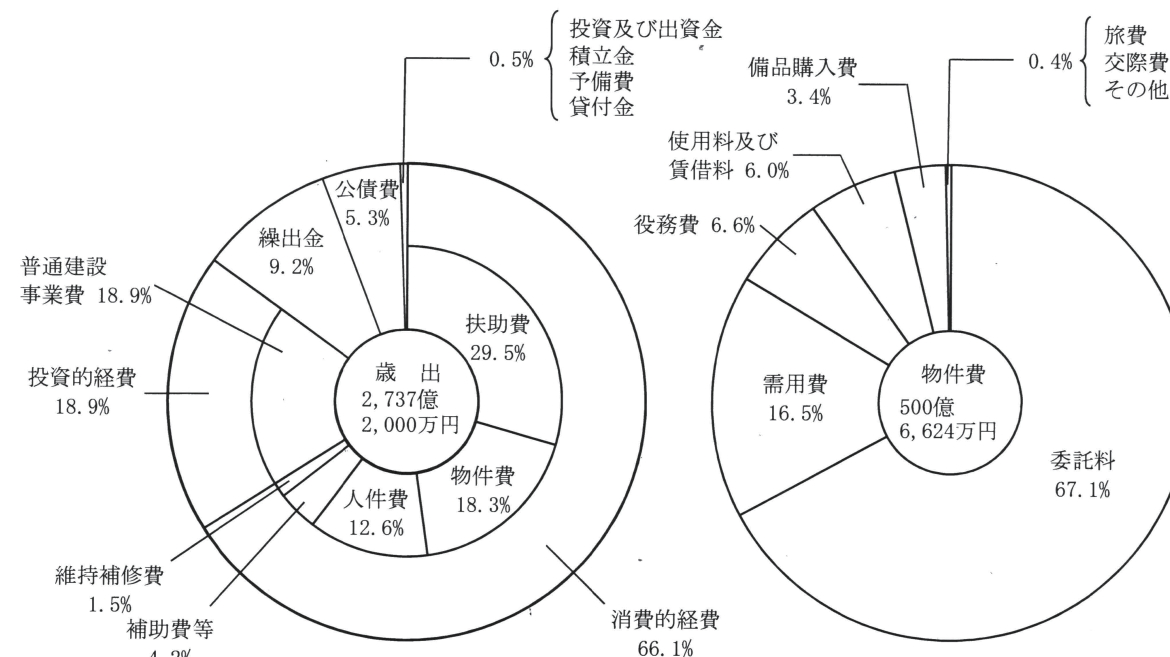
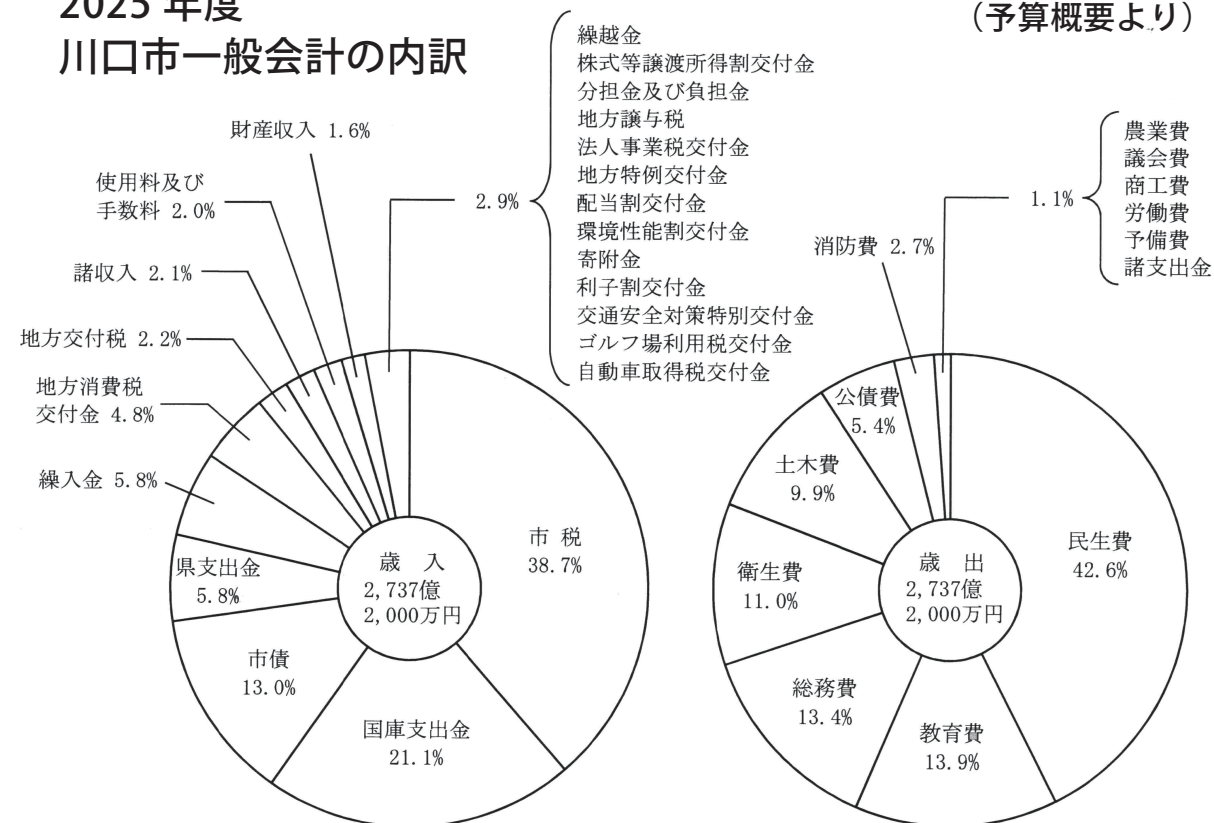
板橋博美市議
12日(水)13時～

一般質問要旨

- 移動の自由が保障される地域公共交通へ
- ごみ焼却中心から資源循環リサイクルの促進を
- 県管理の汚水流出事故にかかわって
- 教育のセイフティーネット・定時制高校の存続を
- 戸塚体育館の利用団体の活動の場所を保障すること

2025年度 川口市一般会計の内訳

(予算概要より)



2025年3月2日 No.1780

日本共産党川口市議会議員団
川口市前川2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2025年度予算案は一般会計は2737億2千万円で、2024年度比7.1%増となりました。下段左は性質別の歳出で、うち物件費が18.3%を占めています。物件費の中には市の委託業務の人件費や人材派遣なども含まれます。一般会計は2737億2千万円で、2024年度比7.1%増となりました。

3月市議会を前に開かれた議会運営委員会で、日本共産党から「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止を求める意見書」(案)、「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書」(案)を提出しました。今号では下記の意見書案前文を紹介します。

「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書」 (案)

新型コロナウイルス感染症が2023年5月に感染症法上の5類に分類された以降も感染症は収束せず、感染拡大時には入院が必要にもかかわらず入院できない「医療崩壊」や、介護を受けたくても受けられない「介護崩壊」といった問題が表面化している。これらの背景には感染症対策が不十分なことに加え、医師・看護師や介護職員、保健師など医療・福祉の人材が不足していることが根本的な原因となっている。

日本医療労働連合会が、2024年度に実施した看護職員や介護施設の実態調査では看護師の離職に歯止めがかかっていない状況が示され、施設での充足もできていない状況も伺える。特に夜勤実態は病院施設では2交代勤務が多くなっている一方で16時間以上勤務が増加しており、介護事業所でも一人体制の夜勤が多かつ回数

規制も整備されていないままとっている。こうした状況に医療・介護の安全面と従事者の健康面のリスクが指摘されており、労働時間規制と夜勤日数制限などの改善が急務である。

また、物価や人件費の高騰が医療機関の経営を圧迫し、福祉医療機構の調査では2023年度は半数以上の一般病院が赤字となり医業の利益率も2007年度以降過去最低となり、日本病院会などが国に財政支援を求める状況にもなっている。公立病院でも同様に経営状況は厳しくなる一方、新興感染症や災害に備えるための対策に加え、公衆衛生の充実へ保健所の体制充実なども求められている。よって、国及び政府においては、安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を速かに実施するよう求める。

記

- 1 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、安定した人員確保のためにもケア労働者の大幅な処遇改善を進めること
- 2 医療や介護の「夜勤交代制勤務労働」に関わる環境を改善すること。特に労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、回数制限などの規制を設け、週労働時間の短縮を進めることや、介護施設などの一人夜勤体制から複数体制となるよう法整備や財政支援を行うこと
- 3 新興感染症や災害に備えるため公立・公的病院への支援を進めるとともに、保健所などの地域の公衆衛生や地域保健を進めるための体制を拡充すること
- 4 必要な医療・介護が経済的理由で抑制されることの無いよう患者・利用者負担の軽減を図ること

川口市議会だよりの発行について

議会内で検討を求める請願書
3月議会に向けて請願が提出されるので
ご紹介します。

【件名と要旨】

「川口市議会だよりの発行について議会内で検討を求める請願書」が件名であり、要旨は全国50万人以上の都市(政令市を除く15市)で、唯一「市議会だよりの発行が未発行の川口市において、議会内で「川口市議会だよりの発行について、検討を始めてください。」となっています。

【理由】

市の広報誌とは別に「市議会だよりの発行」は、二代表制を支える「住民自治の根幹」の川口市議会が市民の暮らしを守る施策や市の将来に関する議論経過や議案に対する各議員・会派の意見、賛否状況など広く市民に知らせることで市民参加を保障することに繋がると考えます。となっています。

【提出】

提出日は2025年の2月13日で提出先は川口市議会議長の榎原秀忠氏です。提出するのは「川口市議会だよりの発行を求める市民の会」です。

